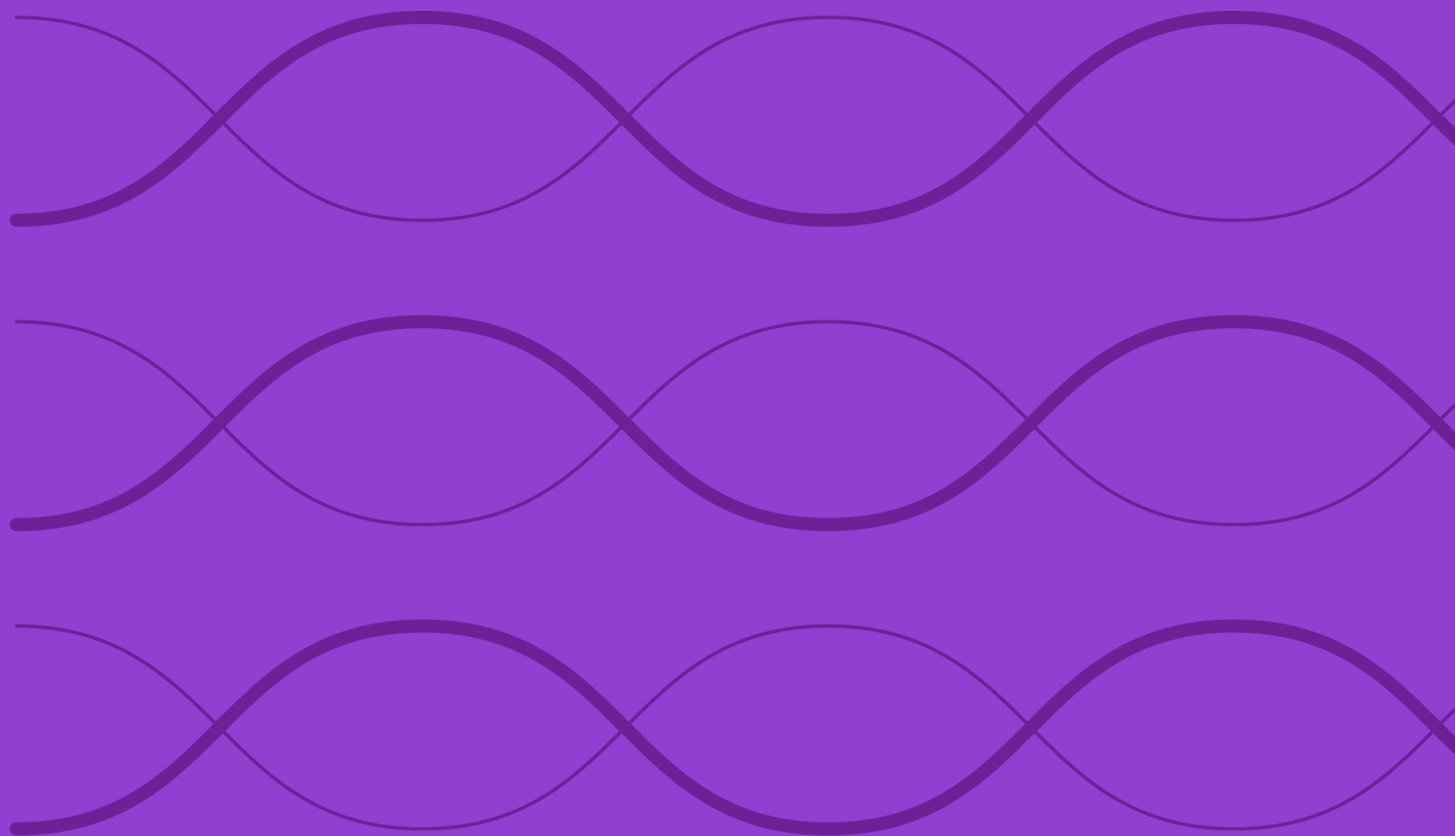


Morningstar[®]
ワイド・モート・フォーカス
株式指数SM構築ルール



概要	3
指数構築	4
メソドロジー・サマリー	4
対象ユニバース	4
銘柄選択	4
ポートフォリオ構築	5
指数のメンテナンスと算出	6
定期メンテナンス	6
コーポレート・アクション	7
指数算出と価格データ	7
メソドロジーのレビューと指数の算出停止に関する指針	7
データの修正と精度	7
日中の指数データの修正	7
指数関連データと除数の修正	8
算出と報告の精度	8
例外	8
付録	8
付録 1: ルールブックの修正履歴	8
付録 2: 用語	9
付録 3: 時期をずらした銘柄入れ替えのプロセス	9
付録 4: 指数に基づく戦略	10
Morningstar Indexes について	10

概要

Morningstar® ワイド・モート・フォーカス株式指数SM は、Morningstar® エコノミック・モート™・レーティング「広い(Wide)」を付与され、現在の株価/適正価値推計値の比率が最も低い企業を投資対象としています。エコノミック・モート・レーティングと適正価値推計値は、Morningstar の株式リサーチ・チームによる独立した調査を通じて決定されます。

Morningstar の株式リサーチ・チームによるエコノミック・モート・レーティングの評価プロセスおよび適正価値推計の詳細については、[Morningstar Equity Research Methodology](#) をご参照ください。

なお、同指数には、環境・社会・ガバナンス（ESG）基準は組み入れられていません。

指数設定日及びパフォーマンス算出開始日

指数の算出開始日は 2007 年 2 月 14 日、遡及算出開始日であるパフォーマンス基準日は 2002 年 9 月 30 日に設定します。

指数構築

メソドロジー・サマリー

対象ユニバース

Morningstar 米国株式指数

- 投資可能な株式の時価総額上位 97%を占める

適格性要件

- 「広い(Wide)」エコノミック・モート・レーティングを有すること
- Morningstar のアナリストによって、適正価値推計値が付与されていること
- サイズ・スクリーニング：
「広い(Wide)」エコノミック・モート・レーティングを有する適格銘柄のうち浮動株調整後時価総額の下位 3%の銘柄は除外

ポートフォリオ構築

- 株価/適正価値推計値倍率の低い順に 40 銘柄の選択
- セクター比率の上限および回転率バッファを適用
- 時期をずらした銘柄入れ替

Morningstar®

ワイド・モート・
フォーカス
株式指数 SM

対象ユニバース

定期的に行われる構成銘柄入れ替え時に、Morningstar ワイド・モート・フォーカス株式指数の構成銘柄は、Morningstar 米国株式指数（以下、親指数）の構成銘柄の中から選択されます。親指数の構築についての更なる詳細は、[Morningstar US Market Indexes](#) をご参照ください。

銘柄選択

指数の構成銘柄として適格とみなされるには、以下の基準すべてを順番に満たす必要があります。

- アナリストによるデータ
 - Morningstar 株式リサーチ・チームによって、「広い(Wide)」エコノミック・モートが付与されていなければなりません。
 - Morningstar 株式リサーチ・チームによって、適正価値推計値が付与されていなければなりません。
 - 構成銘柄入れ替え時に適正価値推計値が「アンダー・レビュー（再評価中）」の銘柄は除外されます。

- 浮動株調整後時価総額の下限フィルター
 - サポートフォリオの構成銘柄入れ替えの際の構成銘柄入れ替え日に、親指数のうち、「広い(Wide)」または「狭い(Narrow)」エコノミック・モート、および適正価値推計値が付与されている銘柄を浮動株調整後時価総額で順位付けし、銘柄数で見た場合に下位 3%に入る銘柄は構成銘柄として適格とはみなされません。
- 企業が複数のシェアを有する場合
 - 指数に現時点で含まれているシェアが優先されます。
 - 現時点で指数に含まれていない企業の場合は、Morningstar 指数チームによって最も流動性があると判断されたシェアが使用されます。

ポートフォリオ構築

- バッファ－・ルール
 - 適格な銘柄ユニバースの中で現時点の株価/適正価値推計値倍率に基づいてランク付けし、サポートフォリオの目標銘柄数(40 銘柄)の 150%(60 銘柄)に相当する順位までにランクされた既存の構成銘柄は、この後のプロセスにおいて優先的に扱われます。
- セクター比率の上限
 - 構成銘柄入れ替え時に、各サポートフォリオにおける個別セクターの配分割合の最大値は、親指数における同セクターの比率プラス 10%、あるいは、サポートフォリオの 40%のいずれか高い方を最大値として制限されます。銘柄選択においてこの制限が課されます。

セクター比率の上限 = Max (40%、ベンチマークにおける比率 + 10%)
- ポートフォリオ選択
 - 2 つのサポートフォリオを合わせたものが当指数のポートフォリオとなります。バッファ－・ルールに含まれた既存の構成銘柄は、銘柄入れ替えのサポートフォリオに留まります。このようにして残った適格銘柄が、現時点の株価/適正価値推計値倍率で昇順に並べられ、最も低い水準で取引されている銘柄から順に、サポートフォリオの銘柄数である 40 に達するまで、サポートフォリオに組み入れられます。

構成銘柄数

Morningstar ワイド・モート・フォーカス株式指数は、2つのサブポートフォリオで構成されています。各サブポートフォリオは、四半期ごとに時期をずらして構成銘柄の入れ替えを行います。銘柄の選択と適格性基準による透明性の高い評価システムに基づき、それぞれ 40 銘柄を目標構成銘柄とします。2つのサブポートフォリオが異なるタイミングで銘柄入れ替えを行うことから、指数全体の銘柄数は、40 から 80 まで（2つのサブポートフォリオの構成銘柄がすべて一致する場合から一銘柄も重複がない場合まで）幅を持つことになります。ただし、銘柄が選択基準および適格性基準を満たさない場合、あるいは、銘柄入れ替え後のコーポレート・アクションの結果、銘柄が追加または削除された場合、構成銘柄数は目標銘柄数より増減することがあります。さらには、6月と12月に行われる親指数である Morningstar 米国株式指数の銘柄入れ替えで除外された銘柄は、Morningstar ワイド・モート・フォーカス株式指数でも同時に削除されます。

加重方法

指数における各構成銘柄の比率は均等です。詳細については、[Morningstar Indexes Calculation Methodology rulebook](#) をご参照ください。

指数のメンテナンスと算出

定期メンテナンス

各サブポートフォリオについて、一四半期ずらしたタイミングで、半年に一度、構成銘柄の入れ替えが行われます。そのため、指数全体の構成銘柄の約半分について、3月、6月、9月、12月の毎四半期、第3金曜日のマーケットクローズ後に銘柄入れ替えが実施されます。調整は金曜日のマーケットクローズ後に実施され、翌月曜日に反映されます。月曜日が指数取引のない日の場合は、銘柄入れ替えは翌営業日に反映されます。さらに、サブポートフォリオ相互間の配分割合については、6月と12月に50%ずつにリセットされます。時期をずらした銘柄入れ替えのプロセスについては、付録3をご参照ください。

銘柄入れ替えに使用するアナリストによるデータ（エコノミック・モートおよび適正価値推計）は、銘柄入れ替え月の第2金曜日の直前の火曜日時点のものです。

銘柄入れ替えおよびリバランスの詳細については、付録2をご参照ください。

指数ファイルはグローバル・カレンダー・スケジュールに則って配信されます。つまり、指数ファイルは1年を通して、各地域の祝日も含めて月曜から金曜まで毎日配信されます。

コーポレート・アクション

コーポレート・アクションに起因する構成比率の調整は、代替加重指数の場合の方法によって行います。詳細については、[Morningstar Indexes Corporate Actions Methodology rulebook](#) をご参照ください。

指数算出と価格データ

指数の算出と価格データに関する詳細については、それぞれ [Morningstar Indexes Calculation Methodology](#)、[Equity Closing Prices Used for Index Calculation](#) をご参照ください。

メソドロジーのレビューと指数の算出停止に関する指針

指数のメソドロジーのレビューは、提示された基本方針を確実に達成できるよう継続的に行います。これらのレビューは、コーポレート・アクションの取り扱い、銘柄選択、メンテナンス・プロセスを対象としています。メソドロジーの変更はいかなる内容であっても、指数の契約者に事前通知されます。更なる詳細については、[Morningstar Index Methodology Change Policy](#) をご参照ください。

また、Morningstar は、指数に関する重大な変更や指数の算出停止につながる可能性のある事象が発生した場合も、指数のすべての契約者とステークホルダーにこれを通知します。指数の算出停止につながる可能性のある事象には、市場構造の変化、プロダクトの定義変更、不完全なデータ供給、不十分な指数の収益性、指数を使用する顧客数の不足、および/あるいは、Morningstar 指数メソドロジー委員会が管理不可能なその他の外部要因などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

指数、あるいは親指数の算出停止によって、指数に連動する商品を提供する契約者は、ビジネスの中断を余儀なくされる可能性があります。指数・親指数の算出停止に備え、全ての契約者が強固な代替プロセスを確保しておくことを奨励します。更なる詳細については、[Morningstar Index Cessation Process](#) をご参照ください。

データの修正と精度

日中の指数データの修正

リアルタイムで算出される指数に使用するデータの正確性を確保するため、商業上合理的な手段を講じるものとします。価格あるいはコーポレートアクション・データの誤りが、指数の日々の高値あるいは安値に影響を及ぼす場合、可能な限り速やかに遡及的に修正するものとします。

指数関連データと除数の修正

データベースにある個別銘柄の株価やコーポレートアクション・データの誤りが発見された場合、通常は誤りが発見された時点でこれを修正するものとします。加えて、指数の除数の誤りについては、それが発生日から 2 日以内のものである場合は、当該誤りが将来に持ち越されることがないように、発見日に遡って修正するものとします。過去の古いデータの誤りの修正については、重要性和実行可能性に鑑み商業的に合理的な手段を講じるものとします。

更なる詳細については、[Recalculation Guidelines](#) をご参照ください。

算出と報告の精度

報告目的で提供する指数値は小数点以下 2 桁で四捨五入し、除数については適切な小数位で四捨五入します。

例外

Morningstar では、上述のメソドロジの適用を目指すものの、市場環境、監督上、法律上、財務上、あるいは税務上の理由によっては、代替的なアプローチを採用する必要がある場合があります。代替的なアプローチを取る決定は、関連する Morningstar 指数メソドロジー委員会によって行われます。非標準的なプロセスの適用については、すべての場合において、Morningstar 指数監視委員会に報告されます。

付録

付録 1: ルールブックの修正履歴

項目	修正内容	更新日
概要	Morningstar の株式リサーチ・アナリストによるデータ割り当てプロセスを削除し、別の文書として参照することを開始。	2015 年 4 月
指数構成銘柄となる株式の選定	Morningstar ワイド・モート株式指数への参照を削除し、Morningstar 米国株式指数にリンク	2015 年 4 月
指数構成銘柄となる株式の選定	2016 年 4 月に発表されたように、2016 年 6 月の構成銘柄入れ替えから指数のメソドロジーの変更を実施。公表済みの指数値は遡及的に調整されず、変更後のメソドロジーは 6 月 20 日以降の指数値にのみ反映	2016 年 6 月

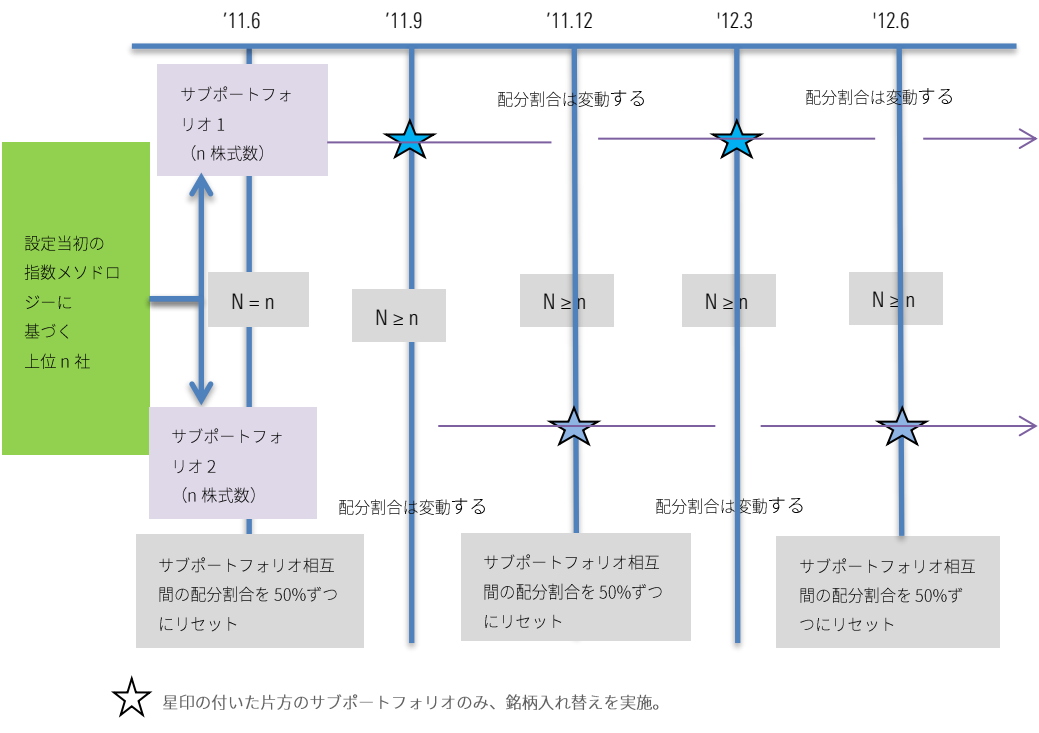
指数の構成銘柄となる株式の選定	2022 年 3 月に発表されたように、浮動株調整 後時価総額の下限フィルターを、構成銘柄入れ 替えの都度、銘柄入れ替えが行われるサブポー トフォリオに適用	2022 年 6 月
ルールブック全体	新しいテンプレートを採用	2023 年 3 月
指数のメンテナンスと算出	カレンダーを米国からグローバルに更新	2024 年 2 月

付録 2：用語

用語	説明
銘柄入れ替え	各構成銘柄の入れ替え時に、「指数構築プロセス」で説明されている手順を実行します。 この結果、構成銘柄はリセットされます。
リバランス	各リバランス時に、構成銘柄の配分割合はリセットされます。

付録 3：時期をずらした銘柄入れ替えのプロセス

Exhibit 2 時期をずらした銘柄入れ替えの概略図



ポートフォリオの銘柄入れ替えプロセスは以下のように実施されます。

1. 指数設定当初は、2つのサブポートフォリオについて同時に銘柄選択が行われます。そのため、構成銘柄は同じです。2つのサブポートフォリオの配分比率はそれぞれ 50%ずつと均等に設定されます。
2. 9月に、サブポートフォリオ 1 について、銘柄入れ替えが実施され、サブポートフォリオ 2 の構成銘柄は維持され、配分割合は変動を続けます。その結果、2つのサブポートフォリオの銘柄構成は同一ではなくなる可能性があります。
3. 12月に、サブポートフォリオ 2 について、銘柄入れ替えが実施され、サブポートフォリオ 1 の構成銘柄は維持され、配分割合は変動を続けます。なお、2つのサブポートフォリオ相互間の配分割合はそれぞれ 50%ずつにリセットされ、リセットに伴う出入金は、各サブポートフォリオ内の構成銘柄のその時点の配分割合にしたがって、割り当てられ、その時点の配分割合が維持されることになります。
4. 3月に、サブポートフォリオ 1 の構成銘柄入れ替えが再度実施されます。
5. 6月に、サブポートフォリオ 2 の構成銘柄入れ替えが実施されます。なお、2つのサブポートフォリオ相互間の配分割合はそれぞれ 50%ずつにリセットされます。
6. このプロセスが繰り返されます（ステップ 2 に戻る）

付録 4：指数に基づく戦略

Morningstar ワイド・モート・フォーカス株式指数は、Morningstar®ワイド・モート・フォーカス・ターゲット・ボラティリティ指数の基本指数として使用されます。指数計算のメソッドロジーの詳細については、[Morningstar Target Volatility Methodology Paper](#) をご参照ください。

Morningstar Indexes について

Morningstar Indexes は、進化し続ける投資家の皆様のニーズに対応し、最先端の商品やサービスで投資家の皆様の支援するために設立されました。透明性が確保され、投資家に焦点を当てたデータとリサーチのリーダー的存在として我々が築いてきた豊富な経験を活かし、主要な資産クラス、スタイル、投資戦略の選択の幅を広げ、個人投資家、機関投資家、ウェルスマネジャー、アドバイザーの皆様が、それぞれの目的に合う投資機会を見いだせるよう独自の手段を備えています。伝統的指数や独自の IP を活用した指数から、インデックスの設計、算出、配信サービスまで、当社のソリューションは、投資家自身と同じくらい多様な投資環境に及びます。

Morningstar 指数メソドロジー委員会

Morningstar 指数メソドロジー委員会は、Morningstar が知的財産を所有する指数の全ての新指数開発、メソドロジー変更、算出停止を監督します。Morningstar リサーチの原則と価値観を指数が遵守していることも当委員会が監督します。当グループは、指数リサーチ、商品開発、商品管理、クライアント・サービス、指数インプリメンテーションおよびオペレーションの専門家といった指数のデザインおよびメソドロジーについて、最初にガバナンスをチェックするメンバーで構成されています。

Morningstar 指数オペレーション委員会

Morningstar 指数オペレーション委員会は、算出している全指数の日々の管理に関して、プロセス、システム、および例外的な対応を統括します。指数のリバランス、銘柄入れ替え、修正、マーケット分類および不測の事態への対応についてもここに含みます。当委員会は（イギリス、欧州ベンチマーク規制（BMR）に準拠する形で）年一度の指数メソドロジー・レビューについても監督し、メソドロジーが目的から外れず、当初設定された投資目的を実現し続けるよう監視します。当グループには、データ、オペレーション、コーポレート・アクション、商品開発、指数の算出開始、クライアント・サービスおよび指数マネジメントといった指数オペレーション業務に関して最初にガバナンスチェックするメンバーで構成されています。

Morningstar 指数監視委員会

Morningstar 指数監視委員会はイギリスおよび欧州ベンチマーク規制（BMR）に基づいた指数監視機能の責任を負います。ベンチマーク管理に関する全ての側面におけるガバナンスに関して独立した立場で監視することで、関連するベンチマーク規制を順守しています。その権限は指数算出から管理まで、Morningstar 指数に関する全ての業務に及び、Morningstar が所有するベンチマークだけでなく、顧客が所有するベンチマークおよび指数算出業務も含みます。その監視機能は Morningstar の組織の一部ですが、指数ビジネス、指数管理、およびその他の指数委員会から独立しています。

www.indexes.morningstar.com

お問い合わせ

indexes@morningstar.com

The information in this document is the property of Morningstar, Inc. Reproduction or transcription by any means, in whole or part, without the prior written consent of Morningstar, Inc., is prohibited. While data contained in this report are gathered from reliable sources, accuracy and completeness cannot be guaranteed. All data, information, and opinions are subject to change without notice. This document may contain back-tested or simulated performances, and the subsequent results achieved by the investment strategy may be materially different.

＜重要事項＞この資料は英語で作成された資料の翻訳版です。日本語版と英語版との間で相違がある場合は英語版をご参照ください。英語版は[こちら](#)に掲載されています。

© 2024 Morningstar, Inc. All Rights Reserved. 本レポートの全ての著作権はモーニングスターに帰属します。モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。また、損害賠償、著作権法の罰則の対象となります。

本レポートに記載されている情報、データ、分析、意見は、（1）モーニングスターの機密情報ならびに専有情報が含まれます、（2）コピーならびに再配布はできません、（3）作成日時点の情報です、（4）予告なしに変更することがあります、（5）モーニングスターによる投資助言ではありません、（6）情報提供のみを目的としたものです、（7）銘柄の売買を推奨するものではありません、（8）情報の正確性、完全性や適時性を保証するものではありません。モーニングスターは、法律により定められている場合を除き、本レポートの情報、データ、分析、意見を利用して行いたいかなる投資の判断、損失、損害に責任は負いません。

当資料にある指数はそれ自体運用商品ではなく、直接投資することはできません。過去のパフォーマンスは将来のリターンを保証するものではありません。本レポートは営業用資料ではありません。投資を行う際は、目論見書や他の開示情報をご確認ください。

Morningstar の商号、ロゴは Morningstar, Inc. の登録商標です。